

赤かび病発病度の低い早生品種
サイレージ用とうもろこし・東北向け早生
「きみまる」

相対熟度110日クラス

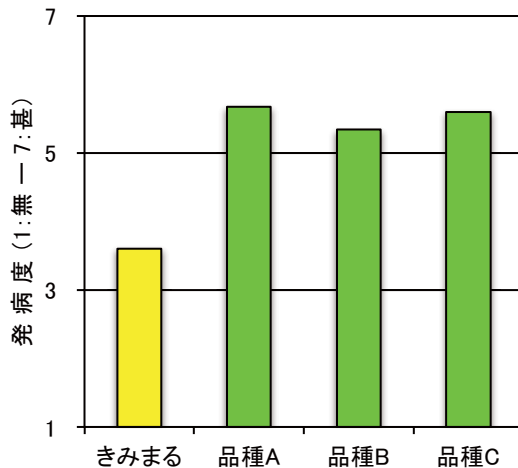


栽培適地 東北地域

高栄養で多収な自給飼料であるサイレージ用トウモロコシは濃厚飼料価格の高騰もあり、その作付けが増加しています。安定的に収量が確保でき、病害に強い品種が期待されています。

「きみまる」は、赤かび病発病度が低く、乾物収量が多く、すす紋病抵抗性やごま葉枯病抵抗性も実用レベルで、高品質自給飼料の安定生産に貢献できます。

1. 「きみまる」は、赤かび病発病度が低い特徴を持っています。



対照品種に比べ、「きみまる」は、赤かび病発病度が低い特徴を持っており、カビ毒汚染のリスクを低減できます。

「きみまる」の赤かび病接種検定
(H23~25年 3か年平均:育成地)

トウモロコシ赤かび病とは



(菌に罹患し、発病した雌穂)

*Fusarium*属菌の感染により引き起こされる病害です。

菌が産生するカビ毒(フモニシン、デオキシニバレノールなど)には家畜毒性があり、飼料の安全性が低下します。

2. 「きみまる」の乾物収量は対照品種に比べ多いです。

3. 「きみまる」は、すす紋病抵抗性は強、ごま葉枯病抵抗性は中で早生品種としては実用レベルです。

4. 「きみまる」の栽培には、ワンホープ乳剤も使えます。

【育成機関】 問い合わせ先:

農研機構北海道農業研究センター
酪農研究領域 飼料作物グループ
TEL:011-857-9317(直通)